KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

KANOYA

旬な"かのや"の情報をまとめてクローズアップ

広報かのや
5
2022
May
Vol.392

新任の地域おこし協力隊員3人を紹介
元村・黒坂・高田隊員

全国3,500店舗の美容業界等を対象にシステムやアプリ開発を手掛ける
株式会社ハイパーソフト

TOPIC
西原にそびえ立つ謎の塔

特集 Special Feature
子どもが主役!学び、育ち、輝くKOKA（コカ）

地域で活躍する団体をピックアップ

SPOT LIGHT

－ スポットライト －

おおすみの商品と作り手の魅力を発信できる場を作る

大隅半島で作られる商品の魅力発信と、作り手同士での交流の場を設けることを目的に結成された「おおすみハナマルシェ実行委員会」。実行委員は異業種の女性を中心に、サポーターは地元の大学生などで構成されています。

平成27年に初めて開催された「おおすみハナマルシェ」での賑(にぎ)わいの様子。5月5日に開催予定のマーケット「こども記念日」では、約60もの出店数を予定しています。

Contents 目次

4 特集 Special Feature 子どもが主役 学び、育ち、輝く KOKA
10 Hot News ホットニュース
12 まちのおしごと「㈱ハイパーソフト」
14 新たな地域おこし協力隊員が3人着任しました！
16 自分らしい生活を続けられるよう 在宅での生活を支援します
18 Information インフォメーション
22 放課後は別の顔／タイム トラベル
23 のかけ橋 「大地山 博 さん」
24 読者のひろば
25 カノヤノトリセツ
26 健康らいふ
27 広告のひろば
28 プレゼント／MOVIEでかのや／映画情報

今月の表紙

五月人形（兜飾り）

旧暦の5月（現在の6月）、武家では鎧(よろい)や兜(かぶと)を出して家の中に飾る習慣がありました。梅雨を前に武具へ風を通して手入れをするためです。端午の節句の飾りに込められた願いは、男の子が病気や事故などの災厄を逃れ、力強く成長してくれること。5月5日は子どもの日です。未来を生きる子どもたちの健やかな成長を見守りましょう。

統計情報　令和4年3月1日現在（前月比）

- 人口／100,284人（－ 62）
- 男性／ 48,111人（－ 13）
- 女性／ 52,173人（－ 49）
- 世帯／46,102世帯（－ 61）
- 面積／448.15㎢

鹿屋市広報

市ホームページ
市公式 Facebook
市公式 LINE
市総合アプリ「かのやライフ」
市政インフォメーション FM かのや（77.2MHz） 平日 8:05～& 16:05～
かのやファン倶楽部
マチイロ（広報誌閲覧アプリ）

おおすみハナマルシェ実行委員会

おおすみハナマルシェ実行委員会は、平成 27 年から活動しています。同委員会は、「おおすみハナマルシェ」、「Matsubokkui Market（東串良町）」をはじめとした特色あるマーケットイベントのほか、「おおすみ女子会」、「おおすみ男子会」など地域での交流イベントを通して大隅の魅力をアピールしています。SDGs やデジタル化、ウィズコロナを見据えて、いかに楽しく乗り越えていけるかを一緒に考える中で、メンバー一人ひとりの役割がとても大きいです。

5月5日（木・祝）にも大隅広域公園大隅アリーナ 21 でマーケットを企画していますので、お子様とご一緒にぜひ足を運んでください。

▲公式Facebook

おおすみハナマルシェ実行委員会
隈﨑 和代 実行委員長

垂水市出身、23 歳から鹿屋市に移り住み、幼稚園教諭として働きながら同委員会活動に関わる。「人の喜ぶ顔を見ることが何よりも好きで、趣味は地域貢献。疲れたときにはお菓子作りでリフレッシュします」と明るく語る。

子どもたちの貴重な成長の場となる子ども会。しかし、年々子ども会加入者数が少なくなってきています。地域とのつながりや異年齢でいろいろな楽しい体験ができる子ども会の活動は、地域の活性化にも影響します。今回はそんな子ども会活動について紹介します。 問 市生涯学習課 ☎0994-31-1138

A

21世紀型 鹿屋Original（オリジナル）「子ども会」構想

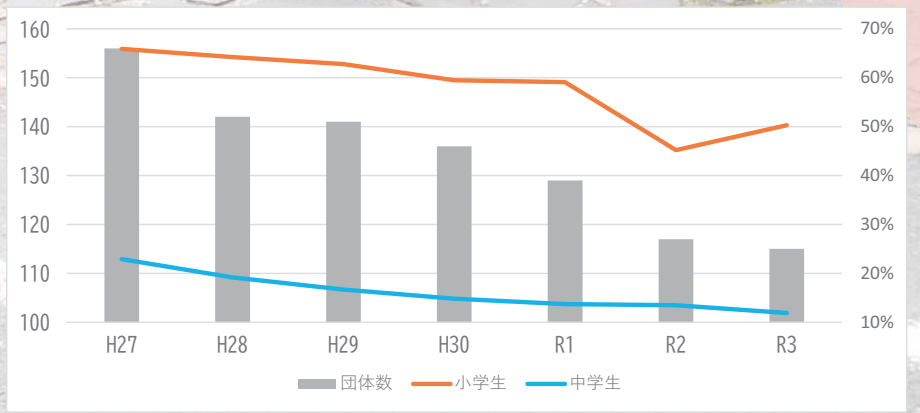
KOKA（コカ） プロジェクトとは

Kanoya（カノヤ） Original（オリジナル）
Kodomokai（コドモカイ） Association（アソシエーション）

KOKAプロジェクトは、近年減少傾向にある子ども会の活性化を図るため、全員参加のための方策や子ども会活動の再構築を検討して、市全体で取り組むプロジェクトのことです。子ども会活動に参加したくても子ども会がないところは、新しく子ども会を作ってもらったり、子ども会活動の在り方や育成会（保護者）・育成者（地域の全ての大人）の関わり方を示したりしていきます。

市内の子ども会の団体数・加入率の推移

単位：団体



◀6年前と比べると、子ども会は41団体少なくなり、加入率も小・中学生共に減少傾向にあります。

子どもが主役 学び、育ち、輝く KOKA プロジェクト

INTERVIEW

子ども会は将来に必要な経験や学びを得られる場

昔は子どもが生まれたら、地域の様々な会に参加して交流することが当たり前でしたが、近年は両親が共働きであることや地域行事に参加を遠慮する世帯も増えてきており、人間関係が希薄になっているように感じます。これは、ひとえに活動の拠点が変わってきていることを示していますが、人口減少が進んでいく中で、地域の協力体制を作ることは、地域の存続に必要不可欠です。

子ども会は基本的に小学1～中学3年生で構成。上級生が下級生の世話をしながら一緒に活動するので、必然的に気配りや面倒見の良い子どもが育ちます。また地域活動を通して、幅広い学年の子どもとの交流だけでなく、高齢者と活動することもあり慈愛の心を育てることにもつながります。

幼い頃に様々な体験を経験してきた子どもとそうでない子どもは、大人になった時に社会性において明確な差が出ます。これからの時代に必要なのは、自分たちで考えて行動できる力です。子ども会は生きていくうえで必要な力を経験を通して学ぶことができる貴重な場であると思っています。

現在は、市の枠を超えた大隅全体の広域的な子ども会に関する活動のほか、学校や町内会などに出向き、子ども会の発足促進などにも取り組んでいます。私たちの住む鹿屋が自分たちの誇れる・将来帰って来たいと思える場所であるよう市全体で未来ある子どもたちを育てていけることを望んでいます。

自ら子どもたちと一緒に体験することがモットー

鹿屋市子ども会育成連絡協議会
宮下（みやした） 恵子（けいこ） 会長

吾平中央麓子ども会（そば切り踊り保存活動）

自分たちで創る。動かす。育む。

子どもが自分たちで動くことでそこに学びがあり、次の世代を育てる。そんな実際の活動の様子を紹介します。

学校とは違う楽しさがたくさん

吾平中央麓子ども会
小牧（こまき） 明日香（あすか） さん

小学２年生のとき、吾平に引っ越してきて子ども会があることを知りました。子ども会では、大学生とレクリエーションを計画したり、かのやばら園で踊るイベントに参加したりと普段ではできない経験をたくさんしました。また、様々な学年の子と遊べることも子ども会の特徴です。

【右】踊りに必要な道具を自分たちで準備します。
【中】踊りの中で礼儀作法も学びます。
【左】終わった後も自分たちでちゃんと片付けします。

子ども会を経験した先にある地域との関わり方

鹿屋っ子ジュニアリーダークラブ
石田（いしだ） 夢翔（ゆめと） さん
（鹿屋工業高校３年）

私は子ども会には小学2年生のときに入り、中学以降はボランティアとして参加を続け、今年で9年目になりました。子ども会に入ったきっかけは単純で、親に連れられて参加した初めての行事で、踊りを周りの大人から褒められてうれしかったからです。

その後子ども会で様々な活動を続ける中、小学5年生のときに「後悔のないように生きなさい」と担任の先生からアドバイスをいただきました。この言葉が自分の次のステップにつながり、子ども会を引っ張るためのリーダーを育成する「リーダー研修会」への参加を決意しました。研修会は宮崎県で行われ、同じように活躍する各地域のリーダーとの交流や勉強会などを通して、とても素晴

今坂南子ども会（お別れ会の活動）

安心して。自分の思ったことを言って大丈夫だよ♪

みんなに何て言えばいいかな…

新聞に乗ってするじゃんけん楽しかったよ!!

下級生が困ったときにすぐに寄り添うのも長年の経験ならでは

入口での受付や消毒の呼び掛けも上級生が行います。

名前の確認できたから、中で待機してね。

上級生として自信がつきました

今坂南子ども会
福留（ふくどめ） 和真（かずま） さん

１年生の頃から６年間、子ども会に所属しました。様々な学年のみんなで集まって交流できることが子ども会のいい所です。今年は最後の年だったので委員長を務めてみんなを引っ張っていきました。今後も子ども会と関わっていきたいです。

らしい経験をすることができました。研修後、地域を支える活動をどのようにすれば続けられるか考えた結果が、現在も続けているボランティアとして地域活動に参加することでした。現在参加している吾平中央麓子ども会では、地元の伝統踊り「そば切り踊り」を後輩に指導したり、裏方としてサポートをしたりしています。

これからも、地元を拠点としながらジュニアリーダークラブの一員として、子ども会員と大人の架け橋になり、また困った人がいる所へ手助けができるように活動の幅を広げていきたいです。

東 紅音（あづま あかね）さん

田畑 信代（たばた のぶよ）さん

福留 美穂（ふくどめ みほ）さん

今坂南子ども会を支える保護者の皆さん

INTERVIEW

子どもたちがやりたいことを、共に考え、導く

子ども会は子どもが主役。子ども会を支える育成会（保護者）の声を聞きました。

子どもたちが自分で決めたビジョンを大切に

子ども会に携わる大人として、子どもたちがやりたいことを聞くようにしています。大切なことは子どもたちが主体になること。いろいろな意見が出ますが、実現可能な方法を大人が提案しつつも、子どもが「自分たちでもできると感じるビジョン」を大事にしています。運営にはお金も必要なので、企画に補助金をもらう段取りまでは大人が行い、実際の買い物などは子どもたちに任せるなど、全てを大人がし過ぎないように、ある程度のところまでを整える形で子どもたちを支えています。

ドッジボール大会を企画したとき、子どもたちが昼食を校庭で食べたいと言い

クリスマス会でみんなでしたケーキ作りが思い出!!

鹿屋中1年 川筋（かわすじ） 優希（ゆうき）さん

夏祭りで踊った「バラ色ロック」おもしろかったよ！

「ひまわりフェスタ」の迷路ゴールできたよ！

東原小6年 川﨑（かわさき） ふうさん

東原小6年 川﨑 うたさん

みんなで企画した「逃走中」が楽しかった!!

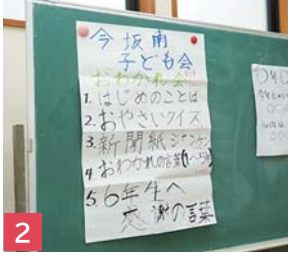
高隈小6年 大町（おおまち） 龍矢（たつや）さん

子どもが主役
学び、育ち、輝く KOKA

鹿屋市子ども会のシンボルキャラクター大募集!!

子ども会で使うキャラクターを大募集します!!
採用されたらTシャツやイベントなどで大活躍かも!!
●応募期間　4月20日(水)～5月13日(金)
●応募方法　応募用紙を期限までに学校へ提出
※応募用紙は各小・中学校で配布されるチラシ内にあり

3



2

4

1

〈今坂南子ども会活動を支える保護者〉
1本当に必要な時だけ優しく手を差し伸べて、保護者は会の進行をじっと見守ります。2子どもたちで計画したお別れ会のプログラム。3みんなで取り組んだ「やさいクイズ」も盛り上がりました。4プログラムを始める前に上級生と段取りを確認します。

地域で子ども会を盛り上げるための支援をしてします

これから子ども会を作りたいという悩みや子ども会内で企画したイベントに対しての補助制度など、子ども会に関する相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

問 鹿屋市子ども会育成連絡協議会事務局（市生涯学習課内） ☎0994-31-1138（平日8:30～17:15）

〈わくわくチャレンジお助け金制度〉
各子ども会で、子ども達が自ら考えた企画について、必要な費用を助成します。
●交付額　上限10万円の中から申請数・活動数に応じて分配
※その他交付要件有り。
●申請方法　5月上旬に送付される申請用紙を市子ども会育成連絡協議会に提出

〈市子連(しこれん)ジャー派遣制度〉
鹿屋市子ども会育成連絡協議会の役員が各子ども会に直接出向き、計画の進め方などをアドバイスします。
●申請方法　市子ども会育成連絡協議会まで連絡

ました。大人の考えでは、校庭だと砂埃(ぼこり)もするし環境が劣悪だと思っていましたが、子どもたちにとってはみんなで何かひとつのことをするという考えに重きを置いていたのだと感じさせられました。大人の考えだけで接するのではなく、子どもの考える答えを実践するのも子ども会でできる取り組みだと思います。

最近はコロナ禍で、お泊まり付きのお別れ会など以前まで普通にできていたイベントが開催しにくい状況ですが、今後もその地域に昔からある行事等を次の世代に引き継いでいって欲しいです。

Hot News ホットニュース

市ホームページにほかの写真も掲載中！

かのやのホットな話題をお届け！

五輪（オリンピック）ロードに新たな碑が完成

3月13日、霧島ヶ丘公園オリンピックロードに「東京オリンピック出場記念モニュメント」が完成しました。これは東京2020オリンピックに出場した橋本英也（はしもとえいや）選手・岡澤（おかざわ）セオン選手・宮田悠佑（みやたゆうすけ）選手・髙橋航太郎（たかはしこうたろう）選手の功績をたたえるために製作したもので、４選手の名前と手形が刻まれています。除幕式に出席した岡澤選手は「パリオリンピックでは金メダルのモニュメントを残したい」と話しました。

全国の大学生が鹿屋の課題解決策を提案

3月3日～15日、リナシティかのやで「地方創生イノベーション武者修行プログラム」が行われました。これは、全国から集まった大学生が開催地の課題解決に向けて新規ビジネスをチームごとに企画するもの。17人の大学生は期間中に商店街の様々な課題を探り、14日の最終プレゼンテーションでは、考案したビジネスについて各チームが熱く発表していました。

地域の活力あふれる活動が評価

3月16日、大隅地域振興局で「おおすみの地域力表彰」の表彰式が開催されました。これは、大隅地域で地域活性化などの取り組みを継続的に行っている個人・団体に贈られるもの。鹿屋市からは、地域の女性有志で組織され、健康づくりや清掃活動等を実施する「川東町女子会」と、伝統芸能の継承や子どもたちの地元愛の醸成などに取り組む「上小原ふるさとの会」が受賞しました。

小学生サッカーで九州制覇

3月18日、小学生女子サッカーチーム「鹿児島県女子U-12トレセンB」に所属する本市の選手３人と関係者が市役所を訪れました。同チームは、１月９日・10日に福岡県で行われた「第32回JFA九州ガールズエイト（U-12）サッカー大会」において、Bグループで優勝。西山智咲（にしやまちさ）主将（笠野原小６年）は「選手同士でうまくコミュニケーションが取れて優勝できたのでうれしい」と語りました。

日本G（グラウンド・ゴルフ）・G協会公認コースで初体験

3月19日、かのやグラウンド・ゴルフ場で「第３回はじめてのグラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。これは、初心者や子どもたちなどにグラウンド・ゴルフの楽しさを伝えるために行っているイベントで、今回は18チーム74人が参加。熱中した保護者が子どもたちにガッツポーズを見せるなど熱い勝負が展開され、上位入賞者と抽せんで全チームに、協賛企業から賞品が贈られました。

選手たちの奮闘にエールを送る

3月17日、「令和３年度鹿屋市スポーツ奨励金交付式」が執り行われました。これは、本市におけるスポーツ振興と競技力向上を目的とし、各種大会で優秀な成績を収めた個人・団体に対し贈られるもの。今年度は、ボクシング競技の岡澤(おかざわ)セオン選手、セーリングの原田(はらだ)小夜子(さよこ)選手のほか、鹿屋体育大学の個人９人と１団体に対して奨励金が交付されました。

少しだけ青空に近いところまで

3月20日、串良町下小原のわっしょい広場で「ピースバルーン号気球搭乗体験」が行われました。これは鹿屋市、大分県宇佐市、兵庫県姫路市・加西市で組織する「空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会」が主催し、平和について改めて考えるイベント。114人の参加者は約20mの高さからの眺望に歓声を揚げていたほか、パネル展示では平和学習ガイドによる説明を熱心に受けていました。

山での事故がないことを願って

3月19日、「第10回高隈登山山開き」が開催されました。これは標高1,182mの御岳を登り、山での事故が１年間起きないように安全を祈願するもので、鹿屋市観光協会が毎年実施。悪天候のため麓の祠(ほこら)で神事を執り行い、山頂を目指して出発。抽選で選ばれた県内在住者とスタッフ合計54人が参加し、風景や春の訪れを楽しみながら登山を満喫していました。

女子ソフトボール県代表を背負い戦う

3月15日、中学生女子ソフトボール県選抜選手と関係者が市役所を訪れました。選抜されたのは、大隅レッドエンジェルス所属の上谷田彩心(かみたにだあこ)さん（鹿屋中２年）と白川(しらかわ)詩乃(うたの)さん（第一鹿屋中１年）で、３月26日から開催された都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会に出場。県選抜のキャプテンでもある上谷田さんは「最大限のプレーができるよう頑張りたい」と抱負を語りました。

本市を支えた企業に感謝を伝える

3月18日、市役所で「鹿屋市地域定着企業表彰」が行われました。受賞した九州西濃運輸株式会社鹿屋営業所は、本市に立地してから30年を迎える企業で、法人向けの貨物輸送サービスを中心に本市の産業振興に貢献。式では、同営業所が行う雇用創出などへの取り組みに対しての感謝と、今後も地域企業に寄り添いながら本市の産業を支えてほしいとの言葉が贈られました。

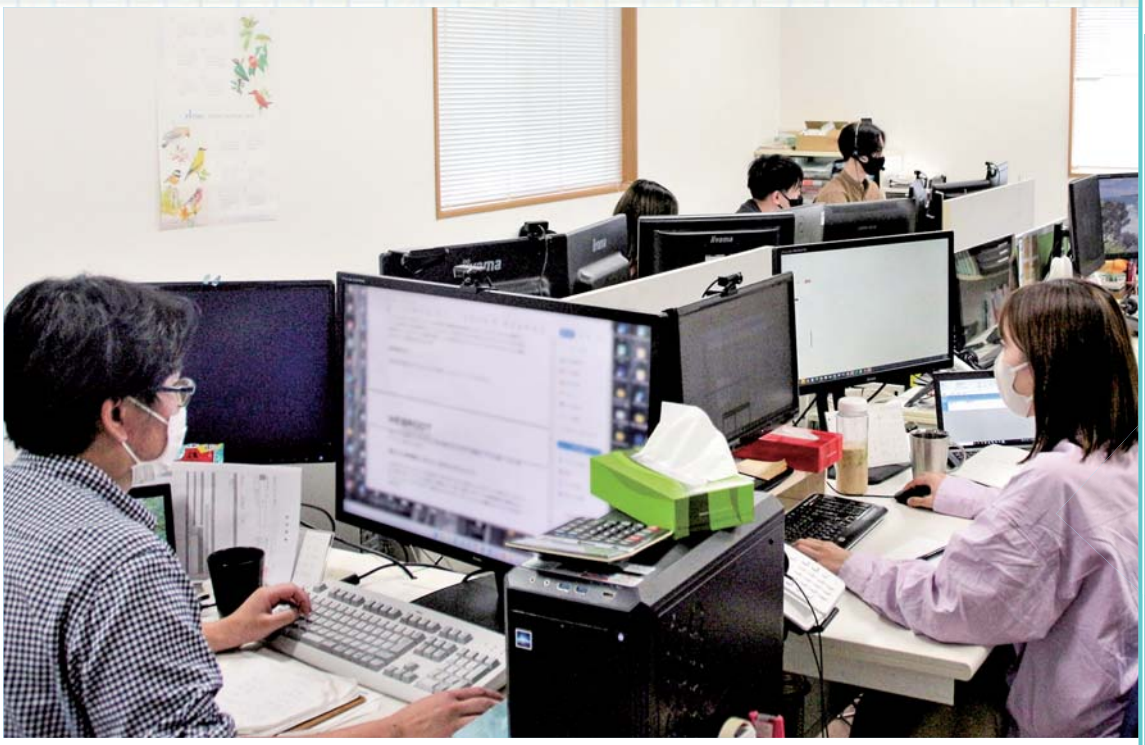
プールを釣り堀にニジマスが釣れた

3月20・21日、鶴羽小学校跡のプールで、ニジマス釣り大会が開催されました。これは、花岡地区の地域活性化に取り組む「花岡会」が開催するイベントで、コロナ禍で外出が控えられている中、少しでも子どもたちの遊び場になるようにと行われたもの。約1,500匹のニジマスが飼育され釣り堀となったプールには、多くの家族連れが訪れニジマス釣りを楽しんでいました。

まちのおしごと

やってみたい仕事が見つかる！

VOL.2



感動する・させる仕事への姿勢

株式会社 ハイパーソフト
新地（しんち） 浩行（ひろゆき） 代表取締役社長

弊社は平成6年に設立し、主に美容業界向けの※POS（ポス）システムやアプリ開発を行っています。提供するシステムはトップサロンやブランドサロンをはじめとして全国約3，500店舗の導入実績があります。

美容業界のPOSシステムとは売上管理だけではなく、顧客管理を行いお客様のカルテを整理するシステムです。サロンなどで得られるお客様の情報は多量でとても深いものであり、美容業界を起点に他業種へのビジネスにつなげることも可能。特に弊社のシステムは数字に強く、とても多くのデータを取ることができます。それらを分析し経営に役立てていただくことで、お客様のサロンの発展につながります。

国内だけではなく、海外の美容分野はこれから伸びていく業界。今後はアジアを中心とした海外展開にも注力し、鹿屋から世界へ羽ばたく企業を目指していきます。

そんな弊社の経営理念は「感動は人生の扉を開く」。どんなに小さいことでも感動できる人間になることで、その感動を通して新しい自分を発見し人生の扉が開かれていくものだと私は思っています。また、良い仕事をすることは自身が感動できるだけではなく、相手の感動にもつながります。

相手のニーズを把握し、本当に使える形として実現することがものづくりでは大切。常に情熱を持って妥協しない仕事をこれからも弊社は続けていきます。

※POSシステム：売上などをリアルタイムで記録・集計するシステム

≪私の仕事

私は一昨年入社し、お客様からの問い合わせ対応や不具合の改善などを行うサポート業務を担当しています。

電話での問い合わせが主で、時には機器の操作方法を写真に撮ってお客様に送ったり、相手のパソコンをリモート操作して対応したりすることもあります。

とても働きやすい職場で、上司や先輩たちに質問・相談がしやすく、休みもしっかり取れる環境です。

まだ知識の不足や操作が不安な機器があるため、早くスキルアップして問い合わせへの対応時間を短縮していきたいです。

サポート事業部
製品サポート部　サポート課
米川（よねかわ） 裕菜（ゆうな） さん
（27歳／入社２年目）

鹿屋市出身高山高校卒。ゲームや漫画、絵を描くことが好きで、休みの日には自作の人形（ドール）と一緒に季節の写真を撮りに出掛ける。

SDGsの取り組み

17 パートナーシップで目標を達成しよう

気持ちを伝える「感謝ポイント」

ボランティア参加者などにポイントを配布し、そのポイントを地域通貨として使用できるアプリ。実績の可視化や地域の活性化につなげていくためのアプリ開発を行っています。

ココに注目!!

用途に合わせたセルフレジ

コロナ禍において急速に普及が進むセルフレジ。コンビニエンスストアやスーパーなどで目にする機会が多いですが、その他の業種でも利用が広がっています。

弊社が美容分野で展開しているPOSシステムは、予約・受付から来店頻度や施術履歴といった顧客管理、そして会計までを行うことができるシステムとなっています。また、おしゃれなサロンに武骨な機械は置きたくないもの。スマートなデザインはお客様にも好評です。

そのほか美容業界だけではなく、感染予防対策が求められる医療現場向けのセルフレジにも注力。現在、100を超える医療機関に導入していただき、接触の機会が減ることによって感染への不安解消に役立っています。

また、これらのシステムと連動して顧客情報やリアルタイム集計を行うことができるアプリや発券機など、それぞれの現場に合わせたシステムの構築も可能となっています。

▲医院用セルフレジ（カウンタータイプ）

株式会社 ハイパーソフト 鹿屋センター

○住所 鹿屋市川西町 3949-4
○電話 0994-45-4616
○創業 平成6年　○代表者 新地 浩行
○従業員数 55 人（うち鹿屋センター 19 人）
○平均年齢 35.2 歳　○勤務時間 8時間
○採用実績 7人（令和4年度）
○福利厚生 各種保険（雇用、健康、厚生年金、労災）、退職金、交通費、出張手当 など

≪近場のおすすめスポット

私はあまり外食をしないのですが、それを知った先輩たちが色々なお店に連れて行ってくれるようになりました。「麺屋きもつき」もその中の一つで、店員さんが笑顔で接客をしてくれるので気持ちよく食事をすることができます。

私が好きなメニューは「愛情とんこつラーメン」。あっさり目のラーメンですが、テーブルに置いてある「辺塚（へつか）だいだい」の果汁をプラスすることで、さらに後味さっぱりと食べることができるのでおすすめです。

麺屋きもつき

〒893-0016
鹿屋市白崎町 17-2
☎ 0994-45-5538
店休日　年末年始
営業時間　10:00 ～ 14:00

新たな3人 地域おこし協力隊員が着任しました！

今年の1月に2人、そして4月から1人が加わって計3人の地域おこし協力隊員が本市に着任しました。いずれも県外出身者で、鹿屋に住んでいるとなかなか気付きにくい魅力を発見・発信し、本市の活性化のために任務に就きます。3年間の任期の中で精いっぱい活動する隊員たちの活躍を応援してください。

1／1 着任！

菅原地域づくりマネージャー

元村 早希（もとむら さき） (29) 隊員

以前住んでいた兵庫県で行われた移住相談会で、アドバイザーの薦めにより初めて鹿屋市を訪問し、そこで協力隊員を募集していることを知り、すぐに応募。鹿屋市を訪れてみて、海あり山ありといった自然いっぱいのロケーションに感動しました。

私の活動は、令和２年に設立され天神・小野原・船間の３町内会とユクサおおすみ海の学校で組織する「菅原地域づくり協議会」の運営に携わること。３月には観光資源として菅原天神の御朱印などを新たに開発しました。そのほかにも耕作放棄地を活用した野菜作り体験イベントや、コミュニティスペースづくりのための空き家改修といった企画を行っています。市内の各団体と協力し協議会内の結束を強めながら、地域外から来てくれる人たちとの交流をすすめていきたいと思います。

大阪府生まれ東京都育ち。アメリカ合衆国への留学経験を持つ。秋田県の大学に通っていたが、東北弁よりも鹿児島弁の方が難しいとのこと。趣味は山登りと読書で、図書館にある様々なジャンルの小説を読んでいる。

1／1 着任！

自転車隊員

髙田 奈生（28）隊員

私は鹿屋体育大学の卒業生で、昨年恩師から「鹿屋市が協力隊員を募集しているよ」と教えてもらいました。他市からのオファーもありましたが、大学時代お世話になった鹿屋で活動することに意義があると感じ、鹿屋市の協力隊への応募を決意。自転車でまちを走っていると住民の皆さんが気軽に声を掛けてくださったり、差し入れをいただいたりと鹿屋の人たちはとても優しいと以前から感じていました。

自転車隊員として自転車を使ったイベントや情報発信、また、地元プロスポーツチームである CIEL BLEU KANOYA などとの連携に取り組み、自転車を積極的に活用しながら地域を元気にすることが私の主な活動です。大隅半島の雄大な景色を眺めながら走ることができるサイクリングロードマップの作成なども進めていきたいです。

4／1 着任！

移住コンシェルジュ

黒坂 美音（38）隊員

着任前は民間の広告代理店で勤務をしていましたが、コロナ禍によるリモートワークの増加によって１人の時間も増加。なにか他のことができないか探していたところ、移住マッチングサイトで本市の協力隊員募集の情報を目にして応募しました。鹿屋は新鮮でおいしい食べ物がスーパーで手軽に手に入り、生活の中で自然を身近に感じられる環境があることが素晴らしいと思います。

移住コンシェルジュとして、移住希望者の相談窓口や、SNS などを活用した情報発信が私の任務。そのほかにも移住体験活動などのイベント企画・運営も行っていく予定です。本市をより広く周知するために、動画作成などのスキルを磨きながら県外の人が本市に興味を持ってもらえるような PR をしていきたいです。

かのやの良さを全国に伝えて、「かのやに行ってみたい」と言ってもらえるような情報発信をしていきます！

奈良県出身。地域に密着したスポーツをしたいと鹿屋体育大学に入学。自転車競技部から「女性の競技者は少ないから日本一を狙える」と勧誘され入部。おいしいものを探すことと、愛犬「ぎん」と遊ぶことが好き。

私自身も県外出身者なので、移住者の目線に立ったアドバイスができるように心掛けていきます。

東京都出身神奈川県育ち。ペーパードライバーだったため、休みの日は大隅半島をドライブするなどして早く運転に慣れるように頑張っている。移住前に購入したカメラを使いこなせるようになりたいと話す。

自分らしい生活を続けられるよう在宅での生活を支援します

令和２年に実施した「高齢者等アンケート」では、65歳以上の約85%の人と、在宅で介護を受けている約74%の人が、「現在の住居にずっと住み続けたい」と回答しています。

このことから、少しでも安心して住み慣れた地域で自立した生活を送っていただくため、市では在宅での生活を支援する福祉サービスを提供しています。　問市高齢福祉課　☎0994-31-1116

進む高齢化社会

２０２５年には、団塊世代全ての人が75歳以上になります。また、２０４０年には団塊ジュニア世代が65歳に到達するなど、高齢化は今後さらに進んでいきます。国立社会保障・人口問題研究所によると、２０４０年には全国の全世帯の半数に迫る44%が高齢者世帯となり、さらにこのうちの40%が一人暮らしになると予測されています。

市の将来人口推計では２０３０年に高齢者人口のピークを迎え、介護ニーズの高い85歳以上の高齢者は、２０３０年から２０４０年にかけて急増する見込みです。

高齢者世帯の孤立

高齢化社会が進む中、高齢者世帯と地域とのつながりが薄れ、身近に頼る人がいない高齢者の社会的孤立が問題になっています。

高齢者の社会的孤立は、「生きがいの低下」、「消費者トラブル」、「犯罪」、「孤立死」、「フレイル（心身の機能低下）の進行」などを招きます。

市では高齢者の孤立を防ぐため、外出支援や仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの支援を目的に福祉サービスを提供しています。

もしもの時に備えて

「一人暮らしで、災害や体調を崩した時などが心配…」、「救急車を呼んでも、体調が悪くて自分のことを説明できなかったら…」。このような心配をしたことはありませんか。一人暮らしの人はもちろん、家族も、駆けつけた救護者や救急隊に必要な情報を正確に説明することは難しいものです。

このような「もしもの時」に備えるために、市では「救急医療情報キット」を配布していますのでご利用ください。

救急医療情報キット

氏名、生年月日、かかりつけ医、持病、服用している薬、救急隊員に気を付けて欲しいこと、緊急連絡先等を記載した用紙を保管しておき、「救命救急」に役立てるものです。

●配布対象者　市内在住で、次のいずれかに該当する人

① 65歳以上の一人暮らし世帯の人
② 65歳以上の高齢者のみの世帯の人
③ 昼間一人になる65歳以上の高齢者

本組合が管轄する地域では、65歳以上の方が救急搬送される割合が、令和3年では70.7%と年々増加傾向にあります。

先日、一人暮らしの高齢者宅を訪れた隣人から様子がおかしいと119番通報がありました。救急隊が現場へ駆けつけると、その方はうまくしゃべれず情報を聴取するのが難しい状況でした。そのため、近くに置いてあった薬を集めたり、貼ってあった電話番号表に一か所ずつ電話をかけたり、対応に苦労しました。

救急隊は傷病者を病院へ搬送する際に、病気やアレルギーの情報、手術等に備えてご家族の連絡先などを伝えています。そういったときに、必要な情報が記載してある「救急医療情報キット」があれば、病院への連絡がスムーズになります。「もしもの時」に備え、「救急医療情報キット」をご準備ください。

▶大隅肝属地区消防組合
石塚（いしづか）正太（しょうた）救急係長

在宅福祉サービス

申請は、市高齢福祉課・各総合支所住民サービス課へ

はり・きゅう施術料の助成

●対象者　市内在住の65歳以上の人
●助成額　1回につき500円×年20回まで
（上限1万円）

公衆浴場利用料の助成

●対象者　市内在住の65歳以上の人
●助成額　1回につき100円×年16回まで
（年間上限1,600円）

高齢者等訪問給食サービス

●内容　昼食・夕食の配食を通して、安否確認や食生活の改善、孤立感の解消を図るサービス
●対象者　老衰、心身の障がい等により食生活の支援、定期的な安否確認を必要とする次の人
①概ね65歳以上又は障がい者のみの世帯の人
②概ね65歳以上の高齢者又は障がい者で同居の親族が就労等のため昼間不在となる人
③概ね80歳以上の高齢者のみの世帯で同居の配偶者が介護を必要とし日常生活に支障のある人
※世帯員が食事の調達ができないなどの要件あり
●利用料　非課税世帯：400円／食、
課税世帯：550円／食
●利用可能日　週6日（月～土曜日）
※日曜日と年末年始（12月30日～1月3日）を除く

敬老バス・かのや市乗合タクシー乗車賃の助成

●対象者　市内に居住し住民登録を有する満70歳以上の人
●助成額　ICバスカード購入額又は乗合タクシー乗車賃の1/2の額（年間上限5,000円）
※対象期間は毎年度4月1日から3月31日まで
●手続きに必要なもの
○ICバスカード購入費の助成申請
購入又は積み増し（チャージ）したICバスカード及び領収書、身分証明書、本人名義の預金通帳
○かのや市乗合タクシー乗車賃の助成申請
身分証明書、本人名義の預金通帳
※かのや市乗合タクシーは「天神・船間地区」のみで運行

◎介護保険・介護予防のことは、地域包括支援センターにご相談ください

地域包括支援センターは、住み慣れた地域で高齢者がいきいきと安心して生活を続けられるように支援を行う総合機関です。

保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門職が中心となって相談・支援を行っていますので、お気軽にお問合せください。　問市地域包括支援センター（吾平町麓56-4）　☎0994-45-6969

介護や健康のこと

●介護予防サービスを受けたい
●要介護認定の申請を頼みたい　など

様々な相談ごと

●近々、母が退院するけど、介護が不安
●近所の一人暮らしの高齢者が心配　など

権利を守ること

●財産管理に自信がなくなった
●虐待にあっている人がいる　など

危険空家解体撤去工事補助金

●補助内容　○解体撤去費用の３分の１（上限 30 万円）
○安全対策に必要な経費の２分の１（上限 10 万円）
●補助対象者　条例等に基づき、助言・指導を受けた空き家の所有者・管理者　など
●補助要件
○市が実施する危険度判定基準を超えていること
○解体業者が建設業法の許可を受けた市内業者であること
○解体・撤去後の跡地利用があること　など
●申請方法　市に事前相談のうえ 11 月 30 日（水）までに解体撤去費用の見積書、位置図、現況写真等を提出
※予算がなくなり次第受付終了

問市安全安心課　☎ 0994-31-1124

「かのや『ばら』と『海』フォトコンテスト2022」応募作品

令和３年８月１日（日）～令和４年７月 29 日（金）に撮影された写真作品
●表現テーマ　※各部１人３点まで
○**ばらの部**＝かのやばら園の「ばら」の魅力
○**海の部**＝市内の「海」の魅力
●作品規格　ワイド四つ切又はＢ４
※組写真、画像合成は不可
※未発表のもの
●賞　特選以上の作品には賞金と副賞有り
●応募　７月１日（金）～ 29 日（金）に応募票（市ホームページに有り）を裏面に貼付した作品を提出

問市公園管理室　☎ 0994-31-1150
〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1

予約制肺がんCT検診の受診者（50歳代は無料）

●日時　６月 10 日（金）、11 日（土）
①　7:00 ～　②　8:00 ～　③　9:00 ～　④ 10:00 ～
⑤ 11:00 ～　⑥ 13:30 ～　⑦ 14:30 ～　⑧ 15:30 ～
●場所　市保健相談センター　●検診料　3,000 円
●対象者　市内に住所を有する令和５年３月 31 日時点で 40 歳以上の人　※ 50 ～ 59 歳の人は無料
●定員　各時間最大 12 人　※先着順
●応募　５月９日（月）～ 20 日（金）に鹿児島県厚生連病院健康管理センター（☎ 099-230-0305）に連絡
※ペースメーカー装着者など受診不可の場合有り

問市保健相談センター　☎ 0994-41-2110

インフォメーション Information

申請・募集　お知らせ　講座　催し物

5月 イベント情報

～６月　５日（日）
かのやばら祭り 2022 春（かのやばら園）

５月　１日（日）～８日（日）
ミニ図書館まつり（市立図書館）
▶市立図書館ホームページ

５月　３日（火・祝）
第 11 回とっておきの音楽祭 in（イン） かのや
（リナシティかのや）

５月　８日（日）
第 34 回南日本クロスカントリー大会 IN（イン） きほく
（輝北うわば公園）

５月 28 日（土）～６月　４日（土）
ひらばうほたるの里ほたる祭り（平房活性化センター）

５月 29 日（日）
鹿児島・鹿屋 Trial（トライアル） Marathon（マラソン） Half（ハーフ）
（平和公園多目的グラウンド周辺）

大隅のイベント

５月　５日（木・祝）
こども記念日×おおすみハナマルシェ
（大隅アリーナ 21）

▲こども記念日

※新型コロナウイルス感染症等のため、予定が変更になる場合があります。

障がい者委託訓練生（パソコン事務科３か月コース）

パソコンの基本操作、仕事に必要なコミュニケーション能力、ビジネスマナーの習得　など
●期間　７月５日（火）～９月 29 日（木）
●場所　鹿屋パソコンスクール（大浦町）　●定員　７人
●対象者　早期の就職や再就職を目指す障がい者
●受講料　無料　※別途テキスト代 8,800 円
●選考試験　６月 17 日（金）に鹿屋パソコンスクールで面接
●応募　６月３日（金）までに入学願書を提出
※入学願書はハローワークかのや、鹿児島障害者職業能力開発校に有り。

問ハローワークかのや　☎0994-42-4135

大隅地域振興局の庁舎警備員

●内容　大隅地域振興局本庁の平日及び土・日・祝日の庁舎警備
●雇用期間　令和５年３月 31 日まで
●勤務時間　○開庁時＝ 17:15 ～翌８:30
○閉庁時＝８:30 ～翌８:30
※閉庁時の勤務回数は２回分で計算
●勤務体制　２人体制の隔日勤務
●勤務日数　月 20 日程度　●募集人数　１人
●賃金　１日当たり 6,860 円
●応募　事前に窓口で相談のうえ、履歴書を提出
※資格等不要・年齢不問

問県大隅地域振興局総務企画課　☎0994-52-2083

特別弔慰金の申請は今年度までです

戦没者等の遺族に支給する「特別弔慰金」の申請期限は令和５年３月 31 日（金）までです。申請がお済みでない人は手続きをお願いします。
●支給内容　５年償還の記名国債（額面 25 万円）
●対象者　戦没者等の子どもや兄弟等の代表者１人
※令和２年４月１日時点で恩給や遺族年金等を受け取っている遺族がいない人に限る
※対象者の中で、支給順位や支給要件有り
●申請　令和５年３月 31 日までに市福祉政策課又は各総合支所住民サービス課で手続き
※請求者の印鑑・身分証明書が必要

問市福祉政策課　☎0994-31-1113

予約制がん検診の受診者

40 歳以上の人が受診できる待ち時間の少ないがん検診
●日時・場所

期日	受付時間	場所
６月 24 日（金）～ 26 日（日）	①　7:00 ～　②　7:30 ～ ③　8:00 ～　④　8:30 ～ ⑤　9:00 ～　⑥　9:30 ～ ⑦ 10:00 ～　⑧ 10:30 ～	市保健相談センター

※受付時間は予約受け付け後、混雑防止のため各時間枠で 10 分間隔に区切り、後日発送する受診票で連絡
●検査項目・検診料
○特定検診＝無料（国民健康保険、後期高齢医療保険の人のみ）
○胃がん＝ 500 円（バリウムによる X 線検査）
○肺がん＝無料（胸部 X 線検査）
※喀痰（かくたん）検査は該当者のみ追加受診可能（500 円）
○大腸がん＝ 500 円（便潜血反応検査２日法）
○腹部超音波＝ 2,000 円（腎臓・肝臓・すい臓・胆のう・ひ臓の超音波検査）
○前立腺がん＝ 1,000 円（血液検査）
○肝炎ウイルス＝無料（血液検査）　※未検査の人のみ
○骨粗しょう症検診＝ 800 円（超音波による骨密度測定）
※令和５年３月 31 日時点で 40 歳の人は骨粗しょう症検診以外を無料で受診可能
●対象者　市内に住所を有する 40 歳以上の人
※年齢は令和５年３月 31 日時点
●定員　各時間帯 18 人程度　※先着順
●応募　５月 10 日（火）～ 20 日（金）に日本健康倶楽部（☎099-273-5591）に連絡
※平日 9:00 ～ 17:00

問市保健相談センター　☎0994-41-2110

2022年度JICA（ジャイカ）海外協力隊春募集 体験談＆説明会 in 鹿屋

JICA 海外協力隊の事業説明や OB による体験談、個別相談会
●日時　５月 22 日（日）　14:00 ～ 16:00
●場所　リナシティかのや３階フリールーム
●定員　15 人
●応募　５月 19 日（木）までにメール又は専用フォームから応募

▲専用フォーム

問 JICA デスク鹿児島　☎090-7167-4238（仮屋）
jicadpd-desk-kagoshimaken@jica.go.jp

※郵送・FAX 等での応募等が可能な場合は、各情報の下段に宛先を記載しています。

森林の所有者になった場合は届け出が必要です

権利移転によって森林の土地の所有者になった場合は、市への届け出が必要です（売買のみならず相続によるものも含む）。

面積の大小に関わらず届け出の対象となりますので、所有者になった日から90日以内に届け出を行ってください。

●届出　市林務水産課、各総合支所産業建設課に届出書を提出

※届出書は市林務水産課、各総合支所産業建設課、市ホームページに有り

問市林務水産課　☎0994-31-1173
〒893-8501 鹿屋市共栄町20-1

認知症サポーターの養成講座を行っています

認知症サポーターは、認知症の人や家族を温かく見守り支援する「応援者」です。希望する団体に対して認知症に関する出張講座を行います。

●対象者　市内の学校や職場など約10人以上の団体

●内容　認知症に関する基礎知識や認知症の人との話し方

●時間　90分程度

●受講料　無料

※受講修了者にはサポーターの証である「オレンジリング」を差し上げます。

問市高齢福祉課　☎0994-31-1116

水防について理解を深めましょう ～洪水から守ろうみんなの地域～

5月は「水防月間」です。洪水などが起きたとき、人命や財産を守るために、地域に住んでいる人が様々な技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを「水防活動」といいます。自らの命を守るために次の点に気を付けましょう。

○避難場所や避難経路を事前に確認する。

○非常時の持ち出し品は事前に準備する。

○台風などが近づいたら気象情報や河川情報に注意する。

問市安全安心課　☎0994-31-1124

飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせましょう

狂犬病予防法により、犬の飼い主には毎年1回（4～6月）の予防注射を受けさせることが義務付けられています。予防注射を行わないと20万円以下の罰金が科せられる場合があります。未接種の場合は必ず動物病院等で狂犬病予防注射を受けさせてください。

また、飼い犬が死亡した・逃亡した等の場合は、届け出が必要ですので市生活環境課に連絡してください。

なお、毎年5～6月に実施していた狂犬病予防集合注射は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今回は中止します。

問市生活環境課　☎0994-31-1115

5月は「消費者月間」です

市消費生活センターでは、契約や解約などの消費者トラブルについて、専門の相談員が情報提供・助言・あっせんを行っています。

また、消費者トラブルを未然に防ぐために、出前講座も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

●場所　市産業支援センター2階

●相談受付　8:30～12:00
13:00～16:00

問市消費生活センター　☎0994-31-1169

電線近くに鯉（こい）のぼりを設置しないで下さい

電線近くでの鯉のぼりの設置は、感電の危険があります。感電事故防止のため、電柱や鉄塔に登ることや、電線の近くに鯉のぼりなどを設置することは絶対にしないでください。

また、電線等に設置物が引っかかった場合や切れて垂れ下がった電線を見つけた場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力送配電にご連絡ください。

問九州電力送配電㈱鹿屋配電事業所
☎0800-777-9451

※新型コロナウイルス感染症等のため、予定が変更になる場合があります。

5月から10月まで ノーネクタイで業務を行います

市では、地球温暖化防止及び省エネルギー推進の取り組みの一環として、5月1日（日）から10月31日（月）までの間、ネクタイや上着を着用しない軽装で業務を行います。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問市総務課　☎0994-31-1127

5月18日(水)11時～ Jアラート試験放送

市では、重大な緊急情報を市民に即時に伝えるため、Jアラート（全国瞬時警報システム）を整備しています。システムが正常に作動するかを確認するため、次の内容で試験放送を行う予定です。試験放送の際は、戸別受信機などの電源を切っていても自動的に作動し、最大音量で放送されます。

●日時　5月18日（水）　11:00ごろ

●内容　「（チャイム）これは、Jアラートのテストです。これは、Jアラートのテストです。これは、Jアラートのテストです。（チャイム）」

問市安全安心課　☎0994-31-1124

肝属地区環境ふれあい館講座 前期講座の募集

●日時・講座名・応募期限

期日	時間	講座名	応募期限
6/ 8（水）	9:30～15:00	Tシャツでバスマット作り	5/29（日）
6/16（木）	9:30～15:00	ポリ袋ストッカー作り	
6/ 8（水） 6/22（水） 7/ 6（水）	9:30～12:00	古着リメイク ～初めての裂き織り～ （3回講座）	
6/29（水）	9:30～12:00	ネコ小物作り	6/ 5（日）
7/13（水）	9:30～15:00	布ぞうり作り	
7/27（水） ～30（土）	9:30～12:00	夏休みチャレンジ ～親子で染物にチャレンジ～	7/17（日）

※夏休みチャレンジは親子が対象

●場所　肝属地区環境ふれあい館

●受講料　無料

●定員

○Tシャツでバスマット作り＝8人

○ポリ袋ストッカー作り＝8人

○古着リメイク＝8人

○ネコ小物作り＝10人

○布ぞうり作り＝10人

○親子で染物にチャレンジ＝10組

●応募

応募期限までに連絡又は来館、もしくは希望講座名・氏名・住所電話番号を記入した用紙（任意様式）をFAX

問肝属地区環境ふれあい館　☎0994-62-8101
FAX 0994-62-8102

「生理の貧困」に関するアンケート調査にご協力ください

市では、経済的な理由などから生理用品が買えない等の状況にある「生理の貧困」に関する実態や原因を把握するため、WEB（ウェブ）アンケートを実施します。

●調査期間　4月28日（木）～5月20日（金）

●対象者　市内に在住又は通勤・通学している女性

●回答方法　専用フォームから回答

▲専用フォーム

問市男女共同参画推進室　☎0994-31-1114

赤十字社事業の活動資金へのご協力をお願いします

日本赤十字社では、赤十字事業に必要な活動資金へのご協力を広く呼びかけています。

この資金をもとに、国内外で地震・台風などの自然災害、戦争や紛争で苦しむ人々に救援の手を差し伸べています。

皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

問日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区（鹿屋市社会福祉協議会内）☎0994-44-2277

※郵送・FAX等での応募等が可能な場合は、各情報の下段に宛先を記載しています。

放課後は別の顔

西原台小学校
和田 萌花（わだ もか）さん（6年生）

クラスではボランティア委員に所属。新1年生の学校生活や給食の準備、掃除の手伝いなどを積極的に行う。週に1度の休みの日には、友達と遊んだりゲームをしたりするのが好き。

兄の泳ぐ姿を見て始めた水泳は、3歳から続けており、今年で8年目になります。1時間半から2時間の練習を週に6日間行っており、週平均4，000mを泳いでいます。そのほかにも瞬↑発力を鍛えるため、月と金曜日は水泳のあとに陸上のトレーニングも行っています。

水泳の楽しさは、0．01秒でも早く泳げると大きな喜びを感じられるところです。去年の夏は50m自由形で全国大会に出場しまし↘た。入賞はできませんでしたが、鹿児島の大会とは違う雰囲気でとても良い経験になりました。

今年は、まだ全国大会に出場できる目標タイムである28秒84をクリアできていませんが、全国大会に必ず出場できるよう練習をがんばりたいと思います。

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

タイム トラベル ～温故写新～

2話

議会に関する歴史

左下の古い写真は、昭和34年3月に開催された第96回鹿屋市議会定例会の様子です。中央の壇上に座り議会を取り仕切っている人は、旧鹿屋市議会の第7代和田義太郎（わだよしたろう）議長で、議長席の前には、符号などを使って人が話す言葉をすぐさま書き取る速記の仕事を行う職員の姿が見られます。

地方議会の歴史はそれほど古くはなく、多くの地方議会は「その住民に直接公選された議員をもって組織する議会を議事機関として置く」ことが戦後の日本国憲法に明記されたことが発端となります。

旧鹿屋市で行われた第1回目の市議会議員選挙は、昭和22年4月30日に行われました。当時の有権者総数は28，537人で、投票率は85．7％を記録し36人の議員が選出されました。

2回目の選挙以降、議員数は増減を繰り返しましたが、平成18年1月の市町村合併時には旧1市3町の議員が集まり、76人の議員数となりました。その際には、議場に全員収容できないことから市役所7階大会議室を議場として使用。その後、同年4月の市議会議員選挙において定数34人が選出されました。

時代の移り変わりに伴い、変遷を繰り返してきた鹿屋市議会。今月24日に行われた選挙では、更に定数も変わり、新たに26人の議員が誕生したところです。

▲昭和34年に開催された3月議会定例会

夢のかけ橋
A bridge of dream

株式会社 ブルースタジオ
代表取締役社長

大地山（おおちやま） 博（ひろし） さん

【右】2020年グッドデザイン賞を受賞した「ユクサおおすみ海の学校」
【中】平均年齢34歳のスタッフとの定例ミーティングで業務確認と意見交換
【左】住と商が軒先にひらくなりわい賃貸住宅「hocco/ホッコ」春のイベント

株式会社ブルースタジオ（東京都）は1998年に私が26歳のときに立ち上げました。2000年からは大学時代の友人たちが加わり、現在では建築設計デザインやまちづくりなど地域に関わる仕事も手掛けています。

旧菅原小学校を活用した事業のお話をいただいたのは、当社がリノベーション・地域創生の仕事を行っていること、そして何より私が鹿屋市の出身であることのご縁でお声掛けいただきました。このプロジェクトでは、地域の皆さまの大きなお力添えもあり、企画設計という枠を超えてユクサおおすみ海の学校の運営をさせていただいています。

私は、自分自身が小さい時に感じた「鹿屋の圧倒的な空気感や美しさ」をいろいろな人たちに感じてほしいと思っています。鹿屋で経験した思い出を持ち続けることが、地域の未来につながる一つの種になるのではないのかと考えています。ユクサおおすみ海の学校開校パーティでは、鹿屋市漁協青年部の皆さまによる大漁旗漁船パレードや、天神町内会長からの「明かりが消えていた学校に再び明かりが灯ったことが嬉しい」とのお言葉など、私自身も嬉しい思い出の種をいくつもいただきました。鹿屋に何かお手伝いができたことを嬉しく感じています。

ブルースタジオには総勢40人のスタッフがいますが、私も含めて地方出身者が多いです。そのスタッフの生まれ故郷で、それぞれが地域の皆さまと何か創ることができたらと考えています。スタッフにも話をしていますが、鹿屋の若い人たちにはぜひ「ありがちなことや当たり前のことから自分なりのテーマを感じていける人」であってほしいと思います。当たり前なんてない、「みらい」は自分たちで創りだすこと。社会情勢や価値観が大きくそして速く変わるこの時にこそ、この意識が大事だと思います。

information

1969年生まれ、鹿屋市出身で東京在住。武蔵野美術大学造形学部卒業のち㈱ブルースタジオを創業。鹿屋を訪れた際に地域の人々との懇親会、ユクサおおすみ海の学校でのアウトドアや釣りで過ごす時間が楽しみ。「いつか愛犬と一緒に鹿屋で過ごしたい」と話す。

Mail

読者のひろば

読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

3月号の「想いをつぐ」を拝見いたしました。懐かしく興味深く読みながら、バトンを次へ渡していく難しさも痛感致しました。私は郷土料理が廃れる事が無いように料理指導等の教室があれば是非参加したいと思っています。たまに主人と2人で竹の皮に包んだ芋団子を作ると、皆とても喜んでくださいます。素朴だけど手間と愛情を沢山かけています。（レモンちゃんさん・女性）

3月号（№388）の特集「想いをつぐ」では、各地に伝わる伝統文化について、高齢化や後継者問題などの課題がある一方で、先人たちの教えや文化を守り、支え続ける人たちの想いや記録保存の意義を紹介しました。市では、郷土料理教室などを含めた様々な講座を開設しておりますので、是非ご参加ください。レモンちゃんさんも芋団子などの郷土料理を次の世代に教え伝えていただければ、ありがたいです。

鹿屋市出身で結婚で関西に住んでいます。4年程前から子ども達も自立したので3か月間隔で帰省し、帰省のたびに広報を見るのを楽しみにしています。自分の居たところと随分変わってしまったので、見るものすべてが興味をそそります。人口も減って新たな取り組みをされている町や、ますます発展している場所など、帰省の際には、記載されているところには訪ねてみたいと思っています。（T・Kさん・女性）

「街は生き物」と言われるとおり、街並みは刻一刻と変わっていきます。そのことを興味深く感じられるT・Kさんの気持ちが嬉しくなるとともに、まだまだ市の魅力をしっかりと伝えなければと決意を新たにしたところです。広報かのやは4月号からリニューアルを行い、新しい企画も始まりました。これからもより読みやすく親しみやすい広報誌を目指してまいります。

笠野原小学校の「縦割り掃除」の記事があり、色んな人と色んな場所の掃除をするという取り組みは、人間関係や協調性を一層成長させていく事ができると思いました。一緒に働くことは、形や大きさが違う石で石垣を造ることに似ていると思います。形や大きさが違っても上手に組み合わせるなら、綺麗な石垣を造ることができます。私も、自分を調整して心を大きく開いて綺麗な石垣を造ることに貢献したいと思います。色んな人たちと仲良く過ごせるように努力するよう励まされました。（ひつじさん・女性）

笠野原小学校の「縦割り掃除」は、学年やクラスが違う15人が1つのグループになって掃除を行うものです。異なる年齢の子どもたちが交流することで柔軟性やコミュニケーション能力を養い、高学年は下級生のお手本として自覚や責任感を、下級生は協力することの大切さや思いやりを育んでいくことなどを目的としています。ひつじさんのおっしゃるとおり、様々な人たちが手を取り協力し合い、十人十色の想いが積み重なったものが石垣＝鹿屋市になると思います。私たち市民全体の気持ちが鹿屋市を造り上げていると自覚し、多くの声に耳を傾けていきたいです。

昨夏、東京から妻の故郷鹿屋に、義母と3人里帰り移住しました。義母を東京に呼ぶ前の盆暮れの帰省と違い、四季の移ろいをじっくり楽しんでいます。ご近所さんからいただく野菜も、東京では味わえない喜びです。走ることが好きな私は、南日本クロスカントリー大会に向け、肉離れや膝痛と戦いながら、「走らない方が健康だね」と妻に言われながら、無事開催されることを祈りながら、アップダウンの激しい道を走っています。（ハタ坊さん・男性）

ようこそ鹿屋の地へおいでいただきました。また、お義母様と奥様のご帰郷を歓迎いたします。「南日本クロスカントリー大会ＩＮきほく」は、起伏が激しく高低差が最大35ｍもあり、九州一過酷なコースと言われていますが、ハタ坊さんもお体を労わりながら完走、そして上位入賞を目指して頑張ってください。

フォトネタ！

豊作を願って

早期水稲の田植えが始まりました。吾平地域では約200haの作付けが見込まれており、農家の皆さんは8月の収穫に向けて、農作業に励んでいます。

Voice

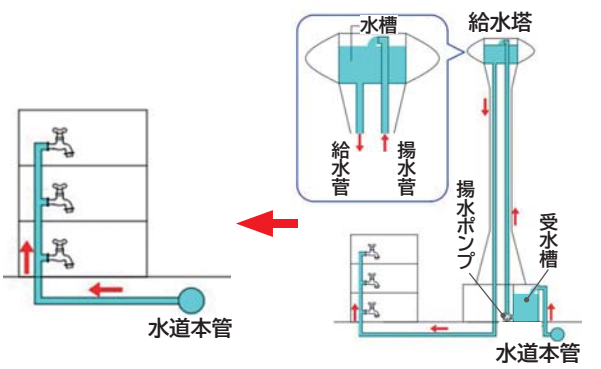
Q 西原の平和団地にある塔は、錆びているけど大丈夫？

A

この塔は、平和団地に安定して水を送り届ける給水塔です。頂部に大きな水槽を設けており、ポンプで水をくみ上げ、高低差による重力を利用して各戸に給水する高架水槽方式による給水施設です。

表面に錆が浮き出ていますが、橋や鉄道などに使用されている特殊な鋼材を使用していますので、構造上問題はありません。一見錆びているように見える表面の錆は保護性の錆であり、内部に侵食していくことはなく、この錆が鋼材を守り、長期にわたり性能を維持しています。

しかし、建設当時主流であったこの高架水槽方式も、毎年の点検清掃や修繕等の維持管理費、また長時間の停電時には断水が発生することから、現在、水道本管の水圧のみで給水する直圧方式への切替え工事を進めています。団地内の全ての切替え工事の完了後、役目を終える給水塔は令和5年度に解体を行う予定です。



改修後 直圧方式
（水道本管の水圧で給水）

現在 高架水槽方式
（水槽からの高低差を利用して給水）

給水塔

昭和60年に完成した給水塔は、施設の役割上周囲で一番背の高い施設であり、約34mの高さがあります。これまで、西原地区のランドマークとしての役割も果たしてきました。

POST CARD

お手数ですが
63円切手を
お貼りください

8 9 3 − 8 5 0 1

鹿屋市役所　政策推進課

広報かのや
KANOYA「読者のひろば」係　行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム　※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別
歳　男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント
要・不要

クイズの答え

Vol.392

皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽せんで特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしています！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合もあります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎0994-31-1123

健康 Healthy Life らいふ

かわいい孫への贈り物事業

問市子育て支援課　☎0994-31-1134

出費の多い子育て世帯を応援するため、おむつ購入の助成券を交付しています。

●対象者　乳児の保護者（乳児・保護者ともに市内に住所を有する人）

●助成内容　対象乳児1人につき上限12,000円のおむつ助成券の交付

●申請期限　対象乳児の満1歳の誕生日前日まで

●申請に必要なもの　申請者の身分が証明できるもの、母子手帳、印鑑

※期限の切れたおむつ助成券は、申請後1年以内なら交換手続き可

※各総合支所でも受付可

5月の休日救急当番医・歯科休日急患在宅医

鹿屋市医師会　診療時間 8:30～18:00

月　日	医療機関	住　所	☎(0994)
4月29日	㊥ こだま共立クリニック	寿5丁目	43-2510
	㊧ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊦ そえじまクリニック	旭原町	41-6800
5月1日	㊥ 伊東クリニック	札元2丁目	43-3500
	㊧ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊦ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
3日	㊥ フクダ医院	寿3丁目	43-4191
	㊧ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦ 徳田脳神経外科病院	打馬1丁目	44-1119
4日	㊥ 池田病院	下祓川町	43-3434
	㊧ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊦ 池田病院	下祓川町	43-3434
5日	㊥ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
	㊧ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊦ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
8日	㊥ 浜崎クリニック	向江町	43-3305
	㊧ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊦ たんぽぽクリニック	川西町	42-6778
15日	㊥ 末次内科循環器科	新生町	43-2331
	㊧ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊦ 鮫島整形外科医院	寿1丁目	43-2535
22日	㊥ 園田クリニック	旭原町	43-8181
	㊧ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦ 検見崎クリニック	西原1丁目	43-2991
29日	㊥ みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊧ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊦ 小林クリニック	上谷町	41-0700

肝属東部医師会　診療時間 9:00～17:00

月　日	医療機関	住　所	☎(0994)
5月1日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
8日	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
15日	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878
22日	ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
29日	岩重医院	東串良町川東	63-8514

鹿屋市歯科医師会　診療時間 9:00～15:00

月　日	医療機関	住　所	☎(0994)
4月29日	中野歯科医院	共栄町	41-7455
5月1日	中原歯科医院	西原1丁目	43-0088
3日	ひがし歯科医院	田淵町	48-2015
4日	池田病院	下祓川町	43-6468
5日	おにがはら歯科医院	寿2丁目	40-3340
8日	根木原歯科	札元1丁目	41-0750
15日	西の原歯科	打馬1丁目	40-4180
22日	はまち歯科・小児歯科クリニック	札元2丁目	43-8461
29日	はらぞの歯科	下堀町	40-4118

大隅肝属地区消防組合テレホンサービス
☎0994-43-0119

平日／午後5時から夜間救急当番医を案内

※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。

休日／休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。

編集後記

武者修行のため人事異動で東京に旅立った池之上君。都会で揉まれたくましくなって帰ってくる日を心待ちにしています。やっぱり若いってうらやましい。（久冨木）

者は「人」をあらわす言葉。今号ではたくさんの元気な子どもたちの声を聞くことができました。今年度も素敵な一期一会を求めて取材を楽しみます！（櫛間）

人との別れや出会いが多い春の季節。池之上氏は東京へ出向し、新たに堂込氏が広報に配属になりました。両者とも新天地で頑張ってください！（下曽山）

形容することは難しい。胸の内で素晴らしいと思っていた考えが、口に出してみるとそれほどでもないこと、ありますよね。今年から広報。何卒お願いします。（堂込）

✂キリトリ線

お便り＆メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽せん・賞品（賞品引換券）の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。

瓦葺替え工事
瓦塗装工事
壁塗装
壁工事
令和４年度
鹿屋市リフォーム助成金
申請と工事はすべておまかせください！
野口瓦工業有限会社
屋根工事をお考えの方はお気軽にご相談ください。
鹿児島県鹿屋市笠之原町 1717 ☎(0994) 43-0057

小豆計画
KAGOSHIMA AZUKI PROJECT
小豆生産者さん募集
鹿児島県産小豆生産プロジェクトがスタート
説明会あり（６月末予定）、小豆栽培が初めてでも安心♪
鹿屋小豆をぜひ一緒に盛り上げてください
☑種→支給します
☑機械→あります（脱穀・乾燥・選別）
☑収穫→全量買取します
株式会社 かごしまんま
鹿屋市串良町上小原 2600-2
✉ info@kagoshimamma.com
0994-63-0555 または 090-8299-8472
お気軽にメールまたはお電話ください
（水・土日除く９：00 ～ 17：00）
担当 山下

霧島地域最大級。
草木と水に囲まれた癒しの空間―
大人の女性に向けたセレクトショップ
展開ブランド Sensounico ／ COSA-NOSTRA M＆KYOKO ／ PASSIONE ほか
隼人駅 ホテル京セラ イオン 勘場蒲鉾 ヒサゴ屋 R10 隼人東I.C.
ショップ公式 LINE
ファッション＆雑貨 ヒサゴ屋 百貨店
霧島市国分野口西12-13 TEL（0995）48－5688
営業 10:00 ～ 18:30 店休 第１火曜ほか不定休

県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿屋医療センター内で働く看護師・看護補助員を募集しております。
詳しくは，下記までお問い合わせください。
問合せ先 〒893-0013 鹿屋市札元１丁目 8-8 ☎0994 (42) 5101
担当：総看護師長

今のような時代
だからこそ選ばれる
家族葬
お客様満足度
家族や親族で見送る
家族団らんの様な
家族葬プラン
※斎場によって会場に違いがあります。
手厚さが特徴です！
158,000円より
（税込173,800円より）
心を尽くし、心を動かす。
池田葬祭 ikeda sousai
無料見積・無料相談受付窓口（24時間・365日対応）
Free Dial 0120-269-556（つむぐ こころ）

家族葬はみち葬祭白崎斎場へ
【事前相談受付中】
一生懸命 一想懸命 一葬懸命 一送懸命
身近な方で温かく送る
有限会社 みち葬祭 白崎斎場
鹿児島県鹿屋市白崎町17-51(だいわのすぐ近く)
TEL. 0994-42-3536

家族葬は花岡
－事前相談お越しください－
◆遠方でのお葬儀をお考えの方
◆故人が過ごした故郷から送り出したい方
まずはお声をおかけください。
たびだち会（お特な会員）入会 5,000円
葬儀プランから 5万円引き
（例：22万円プランを17万円プランより）
※価格は税込表示
ご相談・お問い合わせ 花岡葬祭・花岡会館
鹿屋市古里町533（花岡学園前） HP：hanaokasousai.com
電話 0994-31-8444

広告のひろば
㈱綜合印刷
☎ 0994-43-2093
毎月約 40,000 部を発行する 広報かのや に広告を掲載しませんか !!
広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。
広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政策推進課にお問い合わせください。

KANOYA 広報かのや
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS
5
May 2022
Vol.392
令和4年4月28日発行
（通常版28日・お知らせ版13日発行）
発行／鹿屋市　編集／市長公室 政策推進課
鹿屋市役所　鹿屋市共栄町20番1号　☎0994-43-2111

プレゼント Present

This Month's Gift

「JAN CACAO（ジャン カカオ）特製チョコレート選べる３種」（３名様）

酸味の利いた爽やかなカカオの特徴を残しながらも、素材の味をダイレクトに感じられるJAN CACAOさんのチョコレート。今回は新作を含めた４種類「緑茶・花岡胡椒・楽塩・だっきしょ」の味から３つを選べる特製チョコレートを３名様にプレゼントします！

応募期限 5/26㈭

【応募方法】25･26ページのはがきに、クイズの答えと、「読者のひろば」へのお便りをお寄せください。応募者の中から抽せんで３名様にプレゼントします。なお、当せん者の発表は、賞品引換券の発送をもって代えさせていただきます。（４月号の答え：トリ）

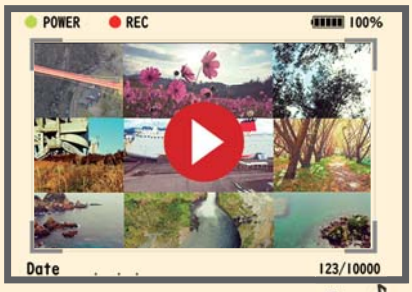
クイズ

Q.もしもの時に備えて、事前に個人情報や持病・服用している薬などを記載しておき救命救急に役立てるものは？

「救急医療○○キット」

※○○に入る２文字の答えは、この広報誌のどこかにあります。

ムービーでかのや MOVIE



◀MOVIE でかのや

今回は、地元大隅の魅力がたっぷり詰まったプロモーションビデオを自主制作した音楽グループ「JAZNIC（ジャズニック）PARK（パーク）」の皆さんにお話を伺いました。映像は現在動画配信サイト「YouTube（ユーチューブ）」で配信中です！

▶OOSUMI（オオスミ）～a shining town（アシャイニング タウン）～

今月のココをCHECK!

くわしくは P25 へGO!!

西原の入り口にもあたる三叉路にそびえたつ謎の塔。一体あれは何の役目を果たしているのでしょう。よく見ると錆（さび）も目立って、景観を損ねていると思う人もいるのではないでしょうか。今回は西原に昔からあるシンボルタワーの疑問についてお答えします。

～リナシティかのやの「リナシアター」で映画を見よう！～

Rena Theater

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2021

ドラえもんのび太の宇宙小戦争（リトルスターウォーズ）2021

5/13㈮～6/23㈭

夏休みのある日、のび太が拾った小さなロケットの中から、手のひらサイズのパピが現れる！なんと彼はピリカ星の大統領で、反乱軍から逃れるために地球にやってきたという。大切な友だちと故郷を守るため、ドラえもんたちはピリカ星へと出発する。

上映時間（108分）
①10時～　②13時～
③16時～　④19時～

※18歳未満の方は、終映が19時を過ぎる上映回には必ず保護者同伴のうえ、ご入場ください。

鑑賞料
一般／1,800円
大学生／1,500円
高校生以下／1,000円
60歳以上／1,200円

問リナシティかのや ☎0994-35-1001

※上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。
※特別割引券は、１枚に付きお一人限りです。
　また他の割引券との併用はできません。

特別割引券

ドラえもんのび太の宇宙小戦争2021

割引券をお持ちの人は300円（高校生以下は200円）を割引します。
※60歳以上の人は割引対象外です。

VEGETABLE OIL INK